



島教協

《すべては「子どもたちのために」》
情報

http://www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax: 0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 曾田史郎 No.665

二十七年度 島教協新役員でスタート

役名	役員氏名	地区	所属
会長	吉田 修	全県	神西小
副会長	佐野 美保	全県	神戸川小
副会長	奥井 克己	全県	出雲一中
副会長	勝部 功人	全県	加茂小
事務局長	曾田 史郎	全県	塩冶小
事務局次長	高橋 勇二	全県	事務局
事務局次長	田中 勝	全県	出東小
事務局次長	岡村 千佳	全県	大社小
事務局次長	柳楽 由美	全県	今市小
執行委員	北村 公子	全県	高浜小
執行委員	安部 彩	全県	遙郷幼
執行委員	伊藤 雅美	松江	玉湯小
執行委員	本田 一美	出雲	出雲南中
執行委員	長島 美佳	出雲	北陽小
執行委員	重栖 伸也	出雲	岐久小
執行委員	嵐谷 恭子	出雲	斐川西中
執行委員	山本 典男	雲南	鍋山小
監査委員	石橋美和子	全県	塩冶小
監査委員	花田 和弘	全県	高松小

平成二十七年度島教協役員選挙が行われ、候補者全員が信任されました。
今年度の役員は、左記一覧表の通りです。役員一同、島教協の充実発展のために、力を合わせてがんばってまいります。会員の皆様の一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

【島教協定期総会のご案内】

島教協 第五十五回 定期総会
五月三十一日(日) 午前九時三十分より
ビッグハート出雲 黒のスタジオにて

総会は、代議員制となっており、各支部から選出された代議員をもって構成されます。支部は、松江、出雲、雲南です。また、代議員以外の会員は、オブザーバーとして参加ができます。定期総会は、今年度の島教協の運動方針と活動内容を決定する重要な会議です。ぜひご参加ください。

教育講演会のご案内

演題 **僕は運命を信じない**

講師 **元プロボクサー**

日本ライト級チャンピオン、東洋太平洋チャンピオン

坂本博之氏

期日 平成二十七年五月十六日(土)
時間 午前十時三十分～十二時
会場 **ビッグハート出雲 茶のスタジオ**

今年度の教育講演会は、「命」をテーマに開催します。講演講師は、元プロボクサーの坂本博之さまとひろゆきさんです。

今回の講演会は、出教協定期総会終了後、引き続き行います。出教協総会参加者だけでなく、島教協会員さんも多数参加願います。

また会員でない方にも島教協の良さを知ってもらう機会だと考えています。ぜひ、職場の教職員の皆さんや一般の皆さんへも紹介していただき、たくさんの方に聴講していただきますようお願いいたします。



元プロボクサー坂本博之さんは、昭和四十五年福岡県川崎町生まれ。物心ついたころには両親が離婚。預けられた親類宅では食事することを許されず、川でザリガニなどを食べて飢えをしのぎました。
小学一年のとき、福岡市の児童養護施設和白青松園に入園。初めて三食の食事と寝る場所を与えられました。
高校卒業後、東京都内のボクシングジム入門。過去4度、世界タイトルマッチに挑戦し、いずれも敗れましたが、元WBA世界ライト級王者畑山隆則さんとの試合ではボクシング史上に残る名勝負を演じています。

いじめによる自殺、児童虐待などが相次ぐ中、坂本さんはどんな環境や境遇に生まれようとも生きていければ人は前に進むことができると訴えます。書籍「僕は運命を信じない」木滅のボクサー坂本博之物語「田中 耕 著」より

教育講演会の申し込みや問い合わせは、島教協事務局へ

〇八五三一―三二七六(ハド)

ごあいさつ

事務局長 曾田史郎

昨年度までの二年間、専従として事務局長を務めさせていただきました。伝統ある島教協の専従として至らない所ばかりの私でしたが、精一杯努めさせていただきました。

専従を務めたことで、たくさんの方と出会い、自分自身の考え方が大きく変わったことは大きな財産です。特に、すべては子どもたちのためにというスローガンの意義を、より一層意識するようになりました。今後は、この二年の経験で得たものを教育現場に還元することも、現場に在る事務局長として、事務局と連携を取りながら、その職責を果たしてまいります。

四月より現場に復帰し、改めて教育現場の多忙さを肌で感じています。子ども向き合う時間、教材研究の時間、事務的な仕事の時間...いくらあっても足りません。私たち教職員が職務に専念できるような環境が必要です。会員の皆様の思いや現場の実情を行政に伝えていくために、微力ではありますが、精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局次長 高橋勇二

平成二十七年年度、島教協組織体制の変更により、新たに事務局次長として事務局に勤務することになりました。

昨年度まで島教協の会員としてお世話になりましたが、今年度からは、現場復帰の事務局長に代わりまして、島教協の事務処理や渉外を担当し、事務局長を補佐してまいります。

島教協は、結成以来「正常な教育の推進に努める」職員団体として、すべては子どもたちのためにを価値判断の基準として様々な教育問題に対して、提言や要望活動を行ってまいりました。

これからも、常に子どもたちのために是非々の立場で活動する組織の運営に役立つように業務を進めてまいります。しかし、事務局だけでは組織は動きません。会員の皆様のニーズを関係諸機関に伝えていきますので、一層の支援・協力をお願いいたします。

島教協相互援助規定のご紹介

- ①結婚祝金の給付 5,000円
- ②出産祝金の給付 5,000円
- ③永年勤続祝金の給付 5,000円
- ④病気見舞金の給付 5,000円 (傷病約1ヶ月の療養)
- ⑤災害見舞金の給付 (住宅又は家財の損害を受けたとき程度に応じて)
- ⑥死亡弔慰金 (会員・会員配偶者死亡)

上記の規定に該当するときは、事務局まで連絡をお願いします。



第一回 執行委員会



四月二十五日(土)午前、島根県教職員協議会第一回執行委員会を開催しました。今回の執行委員会では、定期総会に向けて、平成二十七年年度の活動方針や予算案・教育講演会などについて審議を行いました。島教協定期総会には、来賓として、佐々木雄三県会議員、出雲市教育委員会榎野信幸教育長、全日教連古川俊裕事務局長、山口県教連の小坂朝之委員長にご臨席いただく予定です。

第一回 講師研修会



四月二十五日(土)午後、島根県教育文化研究所主催の第一回講師研修会を開催しました。平成二十八年度教員採用試験を目指す現在講師として勤務されている五名の方が参加されました。本年度新規採用された松江市・津田小の河原さんからは、とても貴重な体験談を伺うことができました。五月七日、島根県教委は、平成二十八年度新規採用試験実施要項を発表しました。前年度比八人増の二百三十人の大量採用、県内の講師について一次試験一部免除の取扱、小学校二次試験の水泳とピアノ実技試験の廃止など、人材の確保の拡充が講じられています。八月に第二回講師研修会を計画しています。

歓迎！新規加入者

- 佐野 綾香さん (大津幼)
- 勝部 さおりさん (塩冶幼)
- 福島 千明さん (平田幼)

魅力ある組織づくりが、新規加入者を増やしていくことにつながると考え、日々努力しているところです。会員の皆様、お隣の方への声かけからお願いします。

あとかぎ (新聞情報より)

○「スマホやめませんか、それとも信大生やめませんか」これは平成二十七年年度の信州大学入学式で、新入生に問いかけて話題になった学長の挨拶です。

文部科学省は携帯電話やスマホが利用の仕方によっては犯罪を犯したり、あるいは巻き込まれたりすることから「ケータイ&スマホ、正しく利用できていますか？」と題したリーフレットを作成して注意を促しています。

また、東京消防庁のまとめでは、平成二十六年までの五年間に「歩きスマホ(歩きながらや自転車に乗りながら携帯電話やスマホを見たり操作したり)」で152人が救急搬送されました。

○教員8割「時間外勤務多い」公立小中学校の教員の8割が「時間外勤務が多い」と感じ、主な原因は「部活動」や「事務処理」。教育学者やジャーナリストら有識者でつくる「日本の教育を考える10人委員会」が調査結果を発表した。委員会は、教員や事務職員の増員、業務負担の軽減などを盛り込んだ提言を発表した。【ゆ】